

大沢地区住民 全員で 面白いことを



酒田市大沢コミュニティ振興会会長後藤正一さん（左）
と阿部彩人さん（右）

多くの中山間地域では人口減少や高齢化が進んでいるが、酒田市の大沢地区では、『大沢「大」文字まづり』や『大沢「大」文字音頭MV』の制作など、地域住民が参加する様々な活動を行い、地域の盛り上がりを見せている。そうした活動を考案し、中心人物となっているのが阿部彩人さんだ。阿部さんは酒田市出身で、地域おこし協力隊として大沢地区で3年間活動。活動終了後も大沢地区に残り、里山の魅力をイベントや体験などで伝える合同会社COCOSATO（ココサト）を設立し、大沢コミュニティ振興会と共に様々な活動を行っている。大沢地区の住民には、「全員で面白いことをやっというこつ」という精神があり、阿部さんの出したアイデアに賛同し、地域全体で盛り上



大沢地区の住民が参加して撮影したMV



「大」文字音頭MVは
こちらから

がりを作り上げている。活動は大沢地区のみにとどまらず、じゅんさいの収穫体験の受け入れを行ったたり、山登り体験として酒田南高等学校の生徒を受け入れたりして、地区外の人たちとも繋がりを作ることで、地域連携を目指している。

また、阿部さんは今後、生産者の高齢化などによって失われつつある大沢地区の地域資源を守っていくため、COCOSATOとして、耕作放棄地などを活用した農業にも取り組んでいきたいとのこと。



イベント情報



『やわた大沢「大」文字まづり 2023』開催！

2018年より大沢地区で毎年開催されている、八幡地域の魅力を発信するオンライン夏祭り。

開催日時：8月6日（日）17：00～20：00（予定）

※阿部彩人（COCOSATO）YouTubeチャンネルにて全世界にライブ配信予定。一般の方はオンラインにてご視聴ください。

YouTubeチャンネルURL：<https://www.youtube.com/@ayateck>



昨年の「大」文字まづりの様子

大沢産のじゅんさいで地域連携

大沢地区では地域資源の一つとして、庄内地方では珍しいじゅんさいが採れ、その収穫体験の受け入れを行っている。阿部さんと大沢コミュニティ振興会では、令和4年度に山形県元気な農村づくりスタートアップ事業を活用して新しく木船の制作とライフジャケットを購入し、令和5年度には収穫体験イベントも行った。木船は大沢コミュニティ振興会会長の後藤さんの手作りだという。

阿部さんは、20年ほど前まで大沢地区の地元の方がじゅんさいを採っていたという話を聞き、令和元年からじゅんさいの採取を開始。今後も収穫体験の受け入れを進めていき、他地域の人たちとの繋がりをつくっていく。大沢地区を訪れた際には、木船に乗って池の中に手を伸ばし、一つひとつじゅんさいを摘み取るという貴重な体験を楽しんでみてほしい。

また、大沢地区で採れたじゅんさいは、八幡地域の「産直たわわ」や「食べチョク」などの産直サイトで販売もしている。



「産直たわわ」で販売しているじゅんさい

山形県元気な農村づくりスタートアップ支援事業に関するお問い合わせ

県では、地域資源を活用して地域の活性化に取り組む活動を応援します。

【お問い合わせ先】

村山総合支庁農村計画課 TEL 023-621-8159
置賜総合支庁農村計画課 TEL 0238-26-6056
県庁農村計画課 TEL 023-630-2948

最上総合支庁農村計画課 TEL 0233-29-1339
庄内総合支庁農村計画課 TEL 0235-66-5549



◀ 要領、様式等
(県HP)